

日本史

第1問 次の(1)～(5)を読んで、以下の問い合わせに答えよ。

(1) 6世紀末、大臣 A が大連物部守屋を滅ぼし、政治権力を握った。

推古天皇が即位し、厩戸王（聖徳太子）らと協力して国家組織の形成を進めた。憲法十七条が定められ、冠位十二階によって氏族ではなく個人の才能・功績に対し官位を与えることにより、氏族単位の王権組織を再編成しようとした。

7世紀には、B が起こり、大王宮が飛鳥から難波に移され、政治改革が進められた。翌年正月に「革新の詔」が出され、豪族の田荘・部曲を廃止して公地公民制への移行を目指す政策方針が示された。667年に中大兄皇子は都を移し、翌年、天智天皇となった。天智天皇が亡くなると、その子の大友皇子と弟の大海人皇子とのあいだで672年に皇位継承の争いが起こり、勝利した大海人皇子は即位して天武天皇となった。

問1 空欄 A B に当てはまる語句として最も適切なものを、以下から選べ。

- | | | | |
|---|---|---------|--------|
| 1 | A | ① 中臣鎌足 | ② 蘇我馬子 |
| | | ③ 小野妹子 | ④ 高向玄理 |
| 2 | B | ① 長屋王の変 | ② 正中の変 |
| | | ③ 乙巳の変 | ④ 安和の変 |

問2 下線部(ア)にある記述として最も適切なものを、以下から選べ。

- | | | |
|---|--------------------------|---|
| ① | 篤く三宝を敬へ。 | 3 |
| ② | 寛徳二年以後の新立荘園を停止すべし…。 | |
| ③ | 法隆寺に火災けり。一屋も余ること無し。 | |
| ④ | 奏すべきの事、下すべきの事、必ず先づ詰り稟けよ。 | |

問3 下線部(イ)をあらわす語句として最も適当なものを、以下から選べ。 4

- ① 応仁の乱 ② 中先代の乱 ③ 明徳の乱 ④ 壬申の乱

問4 下線部(ウ)が行った政策の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 5

- ① 蔵人頭、檢非違使の設置、六衛府への改制などを行った。
② 深く仏教を信じ、国分寺を建立し、東大寺大仏を造立した。
③ 部曲を廃止し八色の姓を制定して、天皇中心の身分秩序を編成した。
④ 飛鳥淨御原令の施行、藤原京の造営など、律令体制の基礎を固めた。

(2) C は仏教政治の弊害を改め、天皇権力を強化するために、784（延暦3）年に平城京から長岡京へ遷都した。794年には、平安京に再度都が移された。

東北地方では奈良時代に、律令国家がさらに北に向けて支配を拡大した。陸奥側では多賀城を基点に、出羽側では秋田城を拠点に日本海沿いに勢力をのばしていった。

789年には、紀古佐美を征東大使として大軍を進めたが、蝦夷の族長阿豆流為の活躍によって大敗した。征夷大將軍となった D は、802年、胆沢城を築いて阿豆流為を服属させ、翌年、北上川上流に志波城を築いた。日本海側でも蝦夷の服属が進み、米代川流域まで律令国家の支配が及ぶようになった。

問5 空欄 C D に当てはまる人物として最も適切なものを、以下から選べ。

- | | | |
|---|------------|----------|
| 6 | C ① 鳥羽天皇 | ② 桓武天皇 |
| | ③ 堀河天皇 | ④ 順徳天皇 |
| 7 | D ① 坂上田村麻呂 | ② 源実朝 |
| | ③ 蘇我蝦夷 | ④ 藤原武智麻呂 |

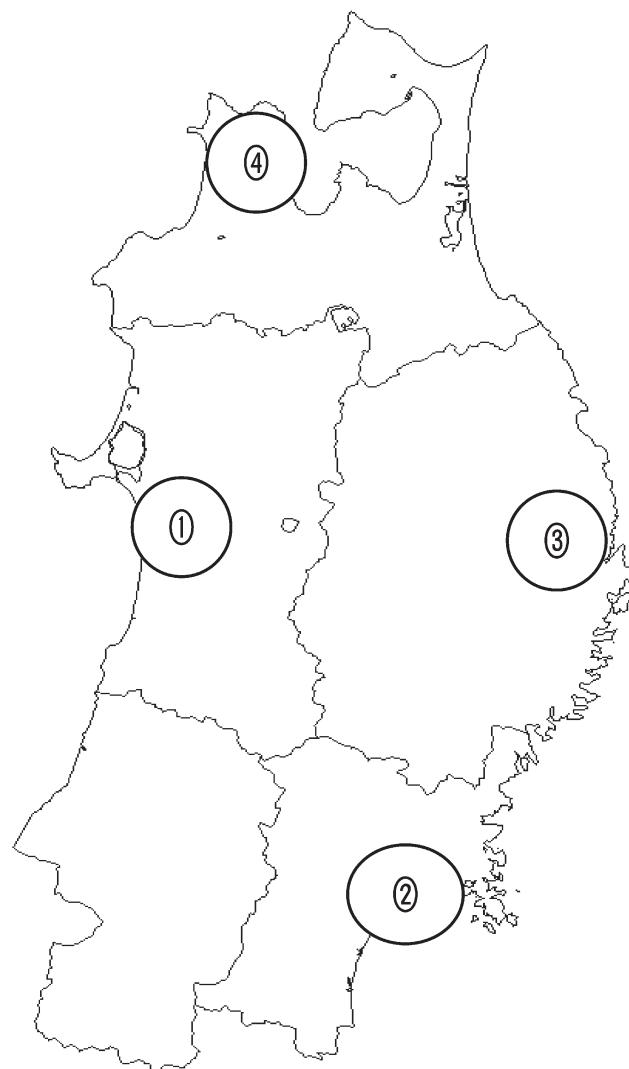
問6 下線部(エ)に関する史料として最も適切なものを、以下から選べ。

8

- ① この富勢を以て、この尊像を造る。
- ② 領家の得分二百石を以て、高陽院内親王に寄進す。
- ③ 宜しく山背国を改めて山城国と為すべし
- ④ 世ノ政ヲハジメテ院中ニテシラセ給。

問7 下線部(オ)があった場所として最も適当なものを、以下から選べ。

9



問8 下線部(カ)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 10

- ① 禁裏の警衛や儀式を任務とする右近衛府の長官であった。
- ② 天皇に近侍して庶政を議し、天皇への奏上や天皇の宣下をつかさどった。
- ③ 太政官とは別に設置され、役人の監察をつかさどった。
- ④ 蝦夷征討のための臨時の將軍を意味していた。

(3) 1156（保元元）年、E が死去するとまもなく、かねてから皇位継承をめぐって後白河天皇と対立していた崇徳上皇は、時の左大臣と結んで武士を集めた。これに対して、後白河天皇もまた武士を動員し、上皇方を攻撃して破った。これを保元の乱と呼ぶ。

(キ)
保元の乱ののちの藤原信頼らとの争いにも勝利した平清盛は、太政大臣にまでのぼり、(ケ) 清盛の一族である平氏の権勢には並ぶものがなくなった。清盛は娘(ケ) を中宮にし、その子を即位させ、外戚として威勢をふるうなど、平氏政権の性格は摂関政治に似たものであり、武士でありながら貴族的な性格が強かった。

このように栄華を誇った平氏であったが、清盛の突然の死や、畿内・西国を中心とする飢饉などで基盤が弱体化した。平氏は1183（寿永2）年に北陸でF に敗北すると、西国に都落ちし、1185（文治元）年に壇の浦で滅亡した。

問9 空欄 E F に当てはまる人物として最も適切なものを、以下から選べ。

- | | | | |
|----|---|--------|---------|
| 11 | E | ① 白河法皇 | ② 宇多上皇 |
| | | ③ 鳥羽法皇 | ④ 後鳥羽上皇 |
| 12 | F | ① 源義家 | ② 源義仲 |
| | | ③ 源頼政 | ④ 源頼光 |

問10 下線部(キ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 13

- ① 藤原頼長は後白河天皇方であった。
- ② 平忠正は後白河天皇方であった。
- ③ 平清盛は崇徳上皇方であった。
- ④ 源義朝は後白河天皇方であった。

問11 下線部(ク)をあらわす語句として最も適切なものを、以下から選べ。 14

- ① 平治の乱
- ② 承久の乱
- ③ 天慶の乱
- ④ 明徳の乱

問12 下線部(ケ)に関する史料として最も適切なものを、以下から選べ。 15

- ① 田畠・山河以下の下地は中分せしめ、各一円の所務を致すべし。
- ② 大蒙古国皇帝、書を日本国王に奉る。たてまつ
- ③ 「此一門にあらざらむ人は皆人この非人にんびにんなるべし」とぞのたまひける。
- ④ 日本准三后某、書を大明皇帝陛下に上る。じゅんさんごう たてまつ

(4) 足利義満は1392（明徳3）年、南朝側と交渉して南北朝の合体を実現し、
(コ) 内乱に終止符を打つことに成功した。南朝の後龜山天皇が義満の説得に応じて
入京し、天皇は北朝の G 1人となった。

南北朝時代には、時代の転換期に高まった緊張感を背景に、歴史書や軍記物語などが作られた。北畠親房によって『神皇正統記』が記され、[二条河原落書]にも書かれたように、武家・公家を問わず広く連歌が流行した。神道思想による『日本書紀』などの研究も進み、H は反本地垂迹説（神本仏迹説）にもとづき、神道を中心に儒学・仏教を統合しようという唯一神道を完成了。

問13 空欄 G H に当てはまる人物として最も適切なものを、以下から選べ。

16 G

① 後小松天皇

② 光明天皇

③ 後村上天皇

④ 後光厳天皇

17 H

① 吉田兼好

② 吉田松陰

③ 吉田兼俱

④ 吉田光由

問14 下線部(コ)が行った政策の説明として最も適切なものを、以下から選べ。

18

- ① 勘合貿易を進めた結果、日本から大量の銅錢が流出した。
- ② 特權的な販売組織である市座を廃止した。
- ③ 冊封を受け、親魏倭王の金印紫綬を受けられた。
- ④ 諸国に課する段錢の徵収権など、朝廷が保持していた権限を室町幕府の管轄下に置いた。

問15 下線部(サ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。

19

- ① 伊勢神道の理論を背景に南朝の皇位継承の道理を説いた。
- ② 公家政権から武家政権への推移と、武家政権の正統性を説いた。
- ③ 『日本書紀』神代の巻について合理的解釈を下し、「神とは人也」とした。
- ④ 開国交易、属島開発などによる危機の打開を提案した。

問16 下線部(シ)の一節として最も適切なものを、以下から選べ。

20

- ① このごろ此比都ニハヤル物。夜討、強盜、にせ謀綸旨。召人、早馬、めしうど虚騒動。そらそうどう
- ② 日本開白かいひゃく以来、土民蜂起是れ初めなり。
- ③ 凡そ土民侍をして國中に在らしむべからざる所と云々。
- ④ およ汝ヤシル都ハ野邊のべノタ雲雀アカルヲ見テモ落ルナミタハゆうひぱり

(5) 1615（元和元）年に禁中並公家諸法度^(ス)が制定され、朝廷運営の基準とされた。江戸幕府は I らに朝廷を監視させたほか、摂家がなる関白・三大臣に朝廷統制の主導権を持たせ、武家伝奏を通じて指示した。

1629（寛永6）年、体調を崩していた後水尾天皇は幕府の同意を求めず突然譲位した。^(セ)幕府は次の天皇が秀忠の孫である J ^(ソ)となることもあり譲位を追認したが、その際、幕府は摂家と武家伝奏に厳重な朝廷統制を命じた。ここにおいて、家康以来推し進めてきた朝廷統制の基本的な枠組みが確認され、幕末まで維持された。

問17 空欄 I J に当てはまる語句として最も適切なものを、以下から選べ。

- | | | | |
|----|---|---------|--------|
| 21 | I | ① 京都所司代 | ② 鎮西奉行 |
| | | ③ 京都守護 | ④ 管領 |
| 22 | J | ① 後陽成天皇 | ② 桜町天皇 |
| | | ③ 明正天皇 | ④ 桃園天皇 |

問18 下線部(ス)の一節として最も適切なものを、以下から選べ。

23

- ① 天子諸芸能の事、第一御学問也。
- ② 皆太政大臣に關白し、^{しかのち}然る後に奏下^{そうげ}すること一に旧事の如くせよ。
- ③ 五百石以上ノ船停止ノ事。
- ④ 荷鞍^{にくら}に毛氈^{もうせん}をかけ、乗り申すまじき事。

問19 下線部(セ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。

24

- ① 幕府は太政官職を独占し、朝廷を形骸化した。
- ② 朝廷は、改元・改暦の権限を保持したが、それらは幕府の承諾が必要となつた。
- ③ 幕府は乱を起こした天皇を流罪にした。
- ④ 六波羅探題は天皇の領地（禁裏御料）を管理した。

問20 下線部(ソ)のきっかけとなった出来事として最も適切なものを、以下から選べ。25

- ① 閑院宮家が創設された。
- ② 天皇が大徳寺などの僧侶にあたえた勅許を幕府が取り消した。
- ③ 天皇が宇佐神宮の神託によって道鏡に皇位を譲ろうとした。
- ④ 後嵯峨上皇の皇子宗尊親王を將軍に迎えようとした。

第2問 次の(1)～(4)を読んで、以下の問い合わせに答えよ。

(1) 幕末から明治にかけて、政治のありようは大きく変わった。江戸時代には、各地の大名らが自らの領地の支配を行っていたが、明治時代に入ると、まず1869（明治2）年に A が実施され、続いて1871年には府知事・県令が派遣され、旧大名らは地方行政に関する権限を失った。府知事や県令は、B の監督を受けて地方行政を行ったが、大名らとは異なり世襲ではなかった。この時期に権力を握ったのは参議であった。

1870年代なかばになると、一部の有力者による專制は強い反発を受けることとなって、国民が幅広く政治に参加することを求める運動が起こった。政府側もこの動きを受けて1875年、C を出し、さらに地方官会議を設置した。その後、政府内部でも立憲制をどのように実現するかをめぐる争いが表面化して D が起こるなど足並みは揃わなかったが、1880年代には、内閣制度が整えられるとともに帝国憲法の制定が進められ、1889年、天皇が極めて強い
権限（天皇大権）を有する大日本帝国憲法が発布され、翌年には第1回衆議院
議員総選挙が実施された。

問1 空欄 A B に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、以下から選べ。 26

A B

- | | |
|--------|-----|
| ① 版籍奉還 | 大審院 |
| ② 版籍奉還 | 太政官 |
| ③ 廃藩置県 | 大審院 |
| ④ 廃藩置県 | 太政官 |

問2 空欄 C D に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、以下から選べ。 27

C

D

- | | |
|--------------|----------|
| ① 戊申詔書 | 明治十四年の政変 |
| ② 戊申詔書 | 八月十八日の政変 |
| ③ 漸次立憲政体樹立の詔 | 八月十八日の政変 |
| ④ 漸次立憲政体樹立の詔 | 明治十四年の政変 |

問3 下線部(ア)に関して、佐賀藩出身で、征韓論に賛成し参議を辞任した人物として最も適切なものを、以下から選べ。 28

- ① 三条実美 ② 岩倉具視 ③ 副島種臣 ④ 青木周蔵

問4 下線部(イ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 29

- ① 府知事・県令が召集された。
② 公選制によって構成員が選ばれた。
③ 文武官の任免を決定した。
④ 郡制・市町村制を決定した。

問5 下線部(ウ)に含まれるものとして最も適切なものを、以下から選べ。 30

- ① 議会の審議を経ずに条約を締結する権限
② 議会の審議を経ずに国家予算を決定する権限
③ 議会の承認を事後にも必要としない緊急勅令を発する権限
④ 議会の審議を経ずに司法権を行使する権限

問6 下線部(エ)に関する説明として最も適切なものを、以下から選べ。 31

- ① 吏党が第1党となった。
② 衆議院議員の任期は6年であった。
③ 内閣総理大臣は衆議院議員であることが必須であった。
④ 女性に選挙権はなかった。

(2) 以下の史料は、ロシア正教会の日本大主教ニコライが1905（明治38）年に記した日記である。

史料

この暴動のそもそもの原因は、締結された講和に対する不満である。どうしてロシアから賠償金を取ることができないのか。なぜサハリンの半分がロシアのものになったのか。きっと燃え上がる性格で有名な政治家河野広中が天皇に請願書を出した。講和締結代表団を罰すること、講和条約を批准しないことという内容である。五日の日比谷公園では、この請願書と同じ調子の扇動的な演説が次々に行われた。それを警察が止めたために、とんでもない騒ぎになった。

……近衛兵の小隊は一日中、本会の構内に留まった。
(ケ)(注1)

(中村健之介編訳『ニコライの日記』)

(注1) 東京都千代田区にあるニコライ堂を指す。

問7 下線部(オ)締結以後の以下の出来事X, Y, Zを発生順で並べた順番として、最も適切なものを、以下から選べ。 32

X 韓国統監を務めた伊藤博文が、ハルビン駅で暗殺された。

Y アメリカとの間で、桂・タフト協定が結ばれた。

Z 旅順に、関東州を統治する関東都督府が設置された。

① X→Y→Z ② X→Z→Y ③ Y→Z→X ④ Z→Y→X

問8 下線部(カ)についての説明として最も適切なものを、以下から選べ。 33

- ① 権太・千島交換条約によって、日本が領有することとなった。
- ② 日露和親条約によって、国境の定めのない日露両国の雑居地となった。
- ③ 日ソ中立条約によって、全域が日本の領有となった。
- ④ 日露協約によって、北半分を日本が領有することとなった。

問9 下線部(キ)の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 34

- ① イギリス流の議会政治を目指し、立憲改進党を結成した。
- ② 小作人など無産階級の主張を代表する、日本労農党を結成した。
- ③ 西洋近代思想を紹介する『文明論之概略』を著した。
- ④ 福島県令三島通庸に対して反発し、蜂起した農民とともに検挙された。

問10 下線部(ク)に関して社会主義や、労働運動などを抑える目的で第2次山県有朋内閣のもとで制定された法律として、最も適切なものを、以下から選べ。

35

- ① 治安警察法
- ② 治安維持法
- ③ 謗謗律
- ④ 保安条例

問11 下線部(ケ)は、工部省の招きにより来日したコンドルによって設計された。

工部省の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 36

- ① 地租改正事業を担当した。
- ② 『職工事情』の編纂を行った。
- ③ 遅信省の所掌業務を受け継ぎ設置された。
- ④ 明治初期の鉄道行政を主導した。

問12 明治期の文化について、最も適切なものを以下から選べ。 37

- ① 加藤弘之は、政教社を結成し、西洋啓蒙思想を紹介した。
- ② 尾崎紅葉は、『金色夜叉』を発表した。
- ③ 徳永直は、『恩讐の彼方に』を発表した。
- ④ 安井曾太郎は、二科会を中心に作品を発表した。

(3) 財政の安定化は、長い間、日本の課題であった。1914（大正3）年、第一次世界大戦が勃発すると、日本経済は大幅な E となった。ただし、1917年に F 内閣が金輸出禁止を実行したこともあり、大戦後、日本の財政は安定を欠くようになった。1920年代に入ると、財政の安定化を目指して、二大政党として衆議院の議席を二分した G と H が激しい論戦を交わした。H の流れを汲む政党を与党とする浜口雄幸内閣の大蔵大臣、井上準之助は、金解禁政策を断行した。

しかし、1930年代に、管理通貨制度に移行すると、国際環境の悪化や二・二六事件の勃発もあって軍事支出増加に歯止めがかからなくなった。戦時期を通じて財政は拡大の一途をたどり、このことは日本の敗戦後の激しいインフレーションの直接的な要因の一つとなった。幣原喜重郎内閣は、金融緊急措置令を発出して、これを鎮静化しようとしたが、その効果は限定的であった。財政安定化は、経済安定九原則の実施を待たなければならなかったのである。

問13 空欄 E F に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、以下から選べ。 38

E F

- ① 輸入超過 原 敬
- ② 輸入超過 寺内正毅
- ③ 輸出超過 原 敬
- ④ 輸出超過 寺内正毅

問14 空欄 G H に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、以下から選べ。 39

G H

- ① 日本社会党 憲政会
- ② 立憲同志会 立憲政友会
- ③ 立憲政友会 憲政会
- ④ 立憲政友会 立憲同志会

問15 下線部(コ)の人物が当時の経済政策について述べたものとして最も適切なものとの組み合わせを、以下から選べ。 40

- a 金の輸出禁止の為に、我財界が斯くの如く不安定になって居りますから、一日も速かに金解禁を実行しなければならぬのであります。
- b 今までの考だと、財政は常に収支の均衡を保たねばならぬと云ふ。けれども……赤字国債と云ふものもさう理屈通りに気に懸けることはない。
- c 我国は段々金の輸出を禁じ、……従来よりも多量の通貨を発行する事を許したる以上は、我対外為替の下落を來すべきは当然であります。
- d 斯かる時期に金解禁の準備として、政府は財政を緊縮し、国民一般は消費を節約したならば、物価は下落して一層不景気を持來すこともありませうが……此の道は確かな間違ひの無い道である…と考へます。

① a - b ② a - d ③ b - c ④ c - d

問16 下線部(サ)に関して、最も適切なものを、以下から選べ。 41

① 日本は南洋諸島を委任統治することとなった。

② 日本軍が上海で国民政府軍と衝突する上海事変が勃発した。

③ 日本人居留民保護を名目に、日本軍が三度にわたり山東半島に出兵した。

④ 日本軍が、奉天省の軍閥、張作霖を奉天郊外で爆殺した。

問17 下線部(シ)に関して最も適切なものを、以下から選べ。 42

① 内大臣であった斎藤実が殺害された。

② 事件後、陸軍の支持を集めた宇垣一成が組閣した。

③ 天皇は、総理大臣が殺害されたことに対して激怒した。

④ この事件を受けて、政府は天皇機関説の否定を明言した。

問18 下線部(ス)の人物が外務大臣であった際に行われたことの説明として最も適切なものを、以下から選べ。 43

- ① ソ連との間に日ソ基本条約を締結した。
- ② ロンドン海軍軍備制限条約（軍縮条約）から脱退した。
- ③ 九カ国条約に基づき日英同盟協約を破棄した。
- ④ ドイツ・イタリアとの間で三国防共協定を締結した。

問19 下線部(セ)に含まれる事項として最も適当なものを、以下から選べ。 44

- ① 財界指導者の公職追放
- ② 累進所得税制の採用
- ③ 官公庁労働者の争議権の確立
- ④ 総予算の均衡

(4) 1950年代なかば、日本は高度経済成長の時代を迎えた。 I による安定した国際通貨体制のもと、エネルギー転換や、さまざまな技術革新が立て続けに起こった。日本の GNP は、1970年代はじめまで、平均して毎年10%以上成長した。^(タ) 経済成長を享受したのは工業部門だけではない。農業部門でもまた農家所得の向上^(チ)が見られ、農村部もまたこの時期の新商品や新たなサービスを消費したのである。

一方、アジアをめぐる国際環境は、決して安定したものではなかった。日本は、1951（昭和26）年に講和を実現し、また長く続いた朝鮮戦争は、1953年に休戦となつたが、その後も東西両陣営による冷戦のもと、アジア情勢は安定を欠いた。講和ののちも、日本はアメリカ軍の駐留を認め、その一方で1954年、J を締結して、日本はアメリカの援助のもと、自国の防衛力を強化することを義務づけられた。日本は西側陣営の一角として国際社会に復帰したのである。

問20 空欄 I J に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、以下から選べ。 45

I

J

- ① 固定為替相場制 MSA 協定
- ② 固定為替相場制 日米行政協定
- ③ 変動為替相場制 MSA 協定
- ④ 変動為替相場制 日米行政協定

問21 下線部(ソ)に関し、1950年代の日本の技術革新の具体例として最も適当なものを、以下から選べ。 46

- ① 液晶画面の製品化
- ② 東京・猪苗代間の長距離送電の開始
- ③ 合成繊維の製品化
- ④ 半導体・IC（集積回路）の利用

問22 下線部(タ)に関して、下の表を参考にしながら、この時期の日本の経済成長の特徴について最も適切なものを、以下から選べ。 47

表 1960年時点の各国経済指標

(単位：%)

指標	日本	アメリカ	西ドイツ
テレビ普及率	38.2	89.0	26.0
電気洗濯機普及率	36.4	90.9	20.0
動物性たんぱく質摂取割合 <small>(摂取したタンパク質のうち、動物性タンパク質が占める割合)</small>	6.0	42.0	34.0
下水普及率 <small>(市街地における下水普及率)</small>	13.3	95.0	
住宅費比率 <small>(家計に占める住宅費の割合)</small>	14.5	32.0	7.3

(丸岡秀子『物価と家計簿』により作成)

- ① テレビ普及率については、西ドイツを上回り、テレビが家庭の娯楽の一つとなっていたことがうかがえる。
- ② 電気洗濯機普及率は、アメリカを上回っており、このことは家事負担の軽減に大きく寄与したと考えられる。
- ③ 住宅費の負担は、アメリカより重い一方、下水普及率はアメリカを上回っており、このことは衛生環境の向上に貢献したと考えられる。
- ④ 動物性たんぱく質の摂取は、アメリカには劣ったものの、西ドイツを上回っており、このことは日本における健康増進に寄与したと考えられる。

問23 下線部(チ)に関して、この時期の農業の説明として最も適切なものを、以下から選べ。 48

- ① 化学肥料や農業用機械が広く普及した。
- ② 農業生産力が上昇し、大豆や野菜・果物の食料自給率が上昇した。
- ③ 農村で多くの労働者を必要とし、都市部への人口流出は見られなかった。
- ④ 土地を集積し、所有地が一千町歩を超える大地主が出現した。

問24 下線部(ソ)に関して、この時期の日本の対外関係について説明したものとして最も適切なものを、以下から選べ。 49

- ① 日本は、第3次鳩山一郎内閣の際に国際連合に加盟しようとしたが、ソ連の反対により失敗した。
- ② 日本は、核兵器の非保有国への核兵器供与を禁じた核兵器拡散防止条約に調印した。
- ③ 田中角栄内閣は、韓国との間で日韓基本条約を締結した。
- ④ 日本は、ソ連・中国を含む全交戦国と講和条約を締結した。